



コミュニティ・スクール
を生かした

地域とともにある学校。

特色ある学校づくりを推進します

一
中
校
区

第一小学校



押本純樹 校長



久朗津朋子 副校長

目指すは、みんなで創る「誰一人取り残さない学校」です。学校だけでなく、保護者や地域の皆様と開校110周年をお祝いしたいです。10月に記念のお祭りをします。「元気が一番、一小パワー!」を結集しましょう。よろしくお祈りします。

第九小学校



吉成かおる 校長



白井賢一郎 副校長

子供たちの「もっと知りたい! やってみたい!」を引き出す教育活動に努めます。また、大人が育てるだけでなく、子ども同士がともに考え、成長し合う「異学年交流」も、引き続き大切にしていきたいと思います。

第一中学校



島田治 校長



小田貴弘 副校長

本校は村山村立村山中学校を前身とした歴史と伝統ある学校です。「自己を生かし、他者を生かす生徒を育てる」ことを学校経営方針の柱として教育活動を行っています。今年も地域とともに歩む第一中学校をどうぞよろしくお祈りします。

第三中学校



飯星健司 校長



宮田聖一 副校長

本校の教育目標は「学ぶ三中」「思いやる三中」「鍛える三中」の3つです。ゼロカーボンシティチャレンジ校、ICT教育やNIE教育等を推進し、地域と協働して、生徒の良さをさらに伸ばす学校を目指します。

三
中
校
区

第三小学校



佐々木琢 校長



田島照久 副校長

「よいまちはよい学校を育て、よい学校はよいまちを創る」。温かい地域の皆様とともに、学校を核とした地域づくりを推進するため、持続可能な社会の創り手を育てるための教育の充実を目指します。

雷塚小学校



高瀬隆太郎 校長



壽田牧子 副校長

本校は、小規模校のよさを生かすとともに、特別支援教育の視点を取り入れながら、子供一人一人にきめ細かな教育を行っています。また、子供たち一人一人が「所属感」「存在感」「充実感」を感じることができる学校を目指します。



施設一体型小中一貫校

小中一貫校村山学園



井内潔 統括校長



田村秀明 副校長



志村雅巳 統括副校長



西伸一郎 副校長

義務教育9年間における系統的・継続的な学びを通して、「自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子」「自分で考えることができる子」「自分で判断することができる子」の育成を目指します。



施設隣接型小中一貫校

小中一貫校大南学園



川口周作 校長
(大南学園 学園長)



齋藤剛 副校長

第七小学校

昨年度、創立50周年を迎えました。これからの50年を一層充実させていくために、不易と流行、そして不易と進化を続け、地域の中の学校として、地域・保護者との連携・協働による教育を目指していきます。よろしくお願いたします。



福泉宏介 校長
(大南学園 副学園長)



近藤竜也 副校長

第四中学校

大南学園誕生から9年目を迎え、校訓「自主創造」の下、このまちの将来の担い手となる生徒が確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けて巣立っていけるよう、地域や保護者の方々と手を携えて子供達を育てていきます。



井口洋 校長



赤坂弘樹 副校長

第二小学校

成功の反対は何もしないことです。失敗ではありません。失敗を恐れず、何事にもチャレンジすることはとても素晴らしいことです。「スマイル&チャレンジ」をモットーに、児童と教師が自分らしく生き生きと学び、ともに成長し、一人一人が明るく輝く学校をつくっていきます。



牧一彦 校長



東高央 副校長

第八小学校

八小校長14年目になります。令和6年度においても「学力向上」に特に力を入れて取り組んでまいります。全校で算数と漢字学習で期末テスト、そして進級・卒業検定を行い、全員合格を目指します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



今井一馬 校長



水間信護 副校長

第十小学校

今年度から、午前5時間制を維持しながら、1コマ40分授業と「個別の時間」を設定しました。「個別の時間」では、自分で学びの選択をし、責任をもって実行していく経験を積むことで、自ら学び続ける児童の育成を目指します。



榎戸千代子 校長



渡邊功 副校長

第五中学校

令和6、7年度は本市の「特色ある学校づくり推進校」となります。各教科、道徳や学活、総合的な学習の時間等を使った授業実践や体験、ボランティア活動等を通して、研究のテーマである「生命尊重と思いやりの心の育成」を目指します。

五中校区

令和6年度 武蔵村山市教育委員会の 基本方針に基づく主要施策・主要事業

教育委員会では、「第三次教育振興基本計画」を踏まえ策定した「武蔵村山市教育委員会基本方針」に基づき、「令和6年度の主要施策・主要事業」を次のとおり定めました。

学 校 教 育

【DXの推進】

GIGAスクール構想に係る1人1台端末をはじめとしたICT機器や高速大容量通信ネットワークを最大限活用し、効果的な学習及び利用の日常化を目指します。

クラウド活用による効果的・効率的な校務支援システムの更新を図り、教育データの分析・利活用や校務の効率化を積極的に推進します。

ICT支援員の活用を図り、デジタル技術の活用を含めた教職員研修を充実させることで、更なる教育の質の向上に努めます。

【学校規模適正化の推進】

児童・生徒にとって望ましい教育環境を確保していくため、市内の人口動向や児童・生徒数の実態、学校規模等を考慮しながら、学校選択制や指定校変更承諾基準の見直し等について検討し、学校規模の適正化を推進します。

【計画的な学校施設・設備改修の推進】

「公共施設等総合管理計画」に基づき策定された「学校施設長寿命化計画」に沿って、適正な教育環境を維持・改善するため、児童・生徒の安全に考慮しながら、学校施設・設備改修の推進に努めます。また、学校施設の照明器具をLED化することによる省電力化など、脱炭素社会の実現に貢献する取組を推進します。

【安全・安心な教育環境の整備】

登下校時における安全確保、学習活動等における安全対策、学校施設・設備等の安全点検、安全・安心な学校給食の提供、アレルギー疾患への対応等、「学校危機管理対応マニュアル」に基づき、迅速かつ的確に対応できる危機管理体制の確立に努めるとともに、感染症対策を含む衛生管理を引き続き行います。

【人権教育・道徳教育の推進】

いじめはどの学校でもどの子供にも起こり得るとの認識の下、「いじめ撲滅宣言」の趣旨を踏まえ、いじめを許さない、見逃さない指導を徹底させるとともに、思いやりの心を育み、あらゆる偏見や差別をなくすために、教育活動全体を通じて人権教育・道徳教育を推進します。

【確かな学力の定着・体力の向上】

子供たちの基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語能力の向上を図るための指導を充実させ、学習意欲の向上及び学習規律の確立を図り、探究的な学びを目指します。

「東京都統一体力テスト体力調査」のデジタル化により体力向上策の検証・分析・改善を効率的に進め、数値的根拠に基づく取組を推進します。

【心と身体の健康の充実】

子供たちが生涯を通じて心身の健康を保持増進できるよう「第四期学齢期における歯の健康づくり推進プラン」に基づき、正しい知識と望ましい習慣の確立により児童・生徒の歯と口の健康づくりを推進するとともに、教育活動全体を通じた保健教育の充実を推進します。

【特別支援教育の充実】

「第五次特別支援教育推進計画」に基づき、特別な教育支援や発達支援が必要な子供一人一人に対し、連続性のある適切な指導と必要な支援が行われるようにするとともに、特別支援教室における指導の充実を図ります。

児童・生徒及びその家庭が抱える様々な課題に対する教育相談体制の充実に向けて、体制整備を推進します。また、西部地区小学校における特別支援学級（固定学級）の設置に向けて、引き続き開設準備委員会において検討し、開設準備を進めます。

【小中一貫教育の推進】

義務教育9年間を通して、系統的・継続的な教育活動を全校で展開するため、目指す子供の姿を保護者・地域と共有し、コミュニティ・スクールの機能を生かした連携を一層推進し、地域とともに進める小中一貫教育の充実に努めます。

【(仮称)防災食育センターの整備と小学校学校給食調理等業務の民間委託】

老朽化した市立学校給食センターに代わる施設として、「防災まちづくり構想」に基づき、災害時は応急給食等を行う防災拠点として稼働し、平常時は学校給食の提供等を行う「(仮称)防災食育センター」を整備し、小学校学校給食調理等業務の民間委託の実施に向け、準備を進めます。

生涯学習

【生涯学習の推進】

「第五次生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習情報の提供や学習機会の充実を図り、「いつでも」「どこでも」「だれでも」自発的に学習活動や表現活動のできる環境づくりを推進します。

国の「こども大綱」の内容を勘案しながら子供たちが意見を表明しやすい環境づくりや子供の主体性を育む取組を推進します。

【家庭教育の支援】

家庭は教育の根本であることから、幅広い世代を対象として、基本的な生活習慣や生活能力、社会的マナーなどの重要性についての普及啓発活動に努めるとともに、引き続き家庭教育講座を開催し、家庭教育を支援します。

また、地域住民等の協力により実施する学習支援の場である「地域未来塾」事業や、放課後に子供たちの安全で安心な居場所を確保するための「放課後子供教室」事業が、子供たちにとってよりよい「居場所」となるよう継続実施するとともに、放課後子ども総合プランに基づき、学童クラブとの一体型の運営を推進します。

【文化財の調査、保護・活用】

市内に残る文化財の保護や調査を実施し、文化財の適正な保護・保存に努めるとともに、歴史民俗資料館及び分館収蔵資料の展示・公開や歴史講座等を実施し、文化財保護思想の普及啓発を促進します。

【スポーツの推進】

「スポーツ都市宣言」の理念を踏まえ、スポーツ・レクリエーション事業の拡充を図り、賑わいと活力あるまちづくりを進め、市民の健康・体力づくりの推進に努めます。「第二次スポーツ推進計画」に基づき、地域の現状や市民のニーズを的確に捉えながら、生涯スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図ります。

【図書館運営の充実】

「第四次子供読書活動推進計画」に基づき、読書活動に関する施策を充実させるとともに、電子書籍の充実や学校図書館との利用連携を進め、図書環境の充実を図ります。



新任の先生が着任しました!
 本年度、市内の小中学校に27名(小学校13名、中学校14名)の教員が新規採用されました。
 本市教育委員会では、新任教諭の更なる資質向上を目指して、3年間にわたり若手教員育成研修会を実施してまいります。
 研修を通じて、教員としての使命感や熱意をもたせ、幅広い知見、実践的指導力、児童・生徒理解等を身に付けていきます。
 子供たちとともに、日々成長していく若い先生方への温かい励ましをよろしく願います。

令和6年度 武蔵村山市立小・中学校児童・生徒数(学級数)

令和6年4月7日現在

小学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援学級	合計	中学校名	1学年	2学年	3学年	特別支援学級	合計
一小	50 (2)	54 (2)	42 (2)	54 (2)	64 (2)	56 (2)	55 (8)	375 (20)	一中	180 (6)	196 (5)	177 (5)	29 (4)	582 (20)
二小	38 (2)	59 (2)	62 (2)	63 (2)	66 (2)	52 (2)		340 (12)	村山学園 中学部	55 (2)	43 (2)	59 (2)	49 (7)	206 (13)
三小	61 (2)	55 (2)	58 (2)	71 (3)	54 (2)	70 (2)		369 (13)	三中	100 (4)	108 (4)	128 (5)		336 (13)
村山学園 小学部	62 (2)	67 (2)	61 (2)	59 (2)	56 (2)	60 (2)		365 (12)	大南学園 四中	86 (3)	89 (3)	104 (3)		279 (9)
大南学園 七小	105 (3)	97 (3)	111 (4)	104 (3)	109 (4)	86 (3)		612 (20)	五中	178 (5)	167 (5)	188 (5)		533 (15)
八小	105 (3)	109 (4)	108 (4)	108 (4)	113 (4)	115 (3)		658 (22)						
九小	49 (2)	47 (2)	45 (2)	38 (2)	47 (2)	33 (1)		259 (11)						
十小	58 (2)	59 (2)	63 (2)	64 (2)	76 (3)	76 (2)		396 (13)						
雷塚小	21 (1)	38 (2)	33 (1)	28 (1)	33 (1)	39 (1)	52 (8)	244 (15)						

児童数計 3,618人 生徒数計 1,936人

※ 通級指導学級及び特別支援教室は合計に含めない。